

小学校区を構成する町丁目	一坪田、官林、前林、大栄十余三		
--------------	-----------------	--	--

面積		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		10.48 (km ²)	213.84 (km ²)	4.90 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	1,840 (人)	132,404 (人)	1.39 (%)	
	人口密度	175.62 (人/km ²)	619.17 (人/km ²)	—	
	男女別人口	男	1,036 (人)	66,487 (人)	1.56 (%)
		女	805 (人)	65,917 (人)	1.22 (%)
	世帯数	510 (世帯)	27,819 (世帯)	1.83 (%)	
	0歳以上～15歳未満	804 (人)	59,910 (人)	1.34 (%)	
	15歳以上～65歳未満	173 (人)	18,647 (人)	0.93 (%)	
	65歳以上～	1,157 (人)	85,938 (人)	1.35 (%)	
	65歳以上の独居者	10 (人)	1,107 (人)	0.88 (%)	
	避難行動要支援者	44 (人)	2,279 (人)	1.93 (%)	
外国人居住者	235 (人)	3,977 (人)	5.92 (%)		
建物分布状況	建物棟数	1,818 (棟)	56,677 (棟)	3.21 (%)	
	木造(S55以前)	524 (棟)	13,866 (棟)	3.78 (%)	
	木造(S56以降)	930 (棟)	29,933 (棟)	3.11 (%)	
	RC・SRC造	32 (棟)	2,236 (棟)	1.44 (%)	
	S造	281 (棟)	9,453 (棟)	2.97 (%)	
	その他	51 (棟)	1,189 (棟)	4.31 (%)	
密集度	173.50 (棟/km ²)	265.04 (棟/km ²)	—		

自主防災組織結成状況	組織数	1	世帯数	120	結成率	0.24 (%)
------------	-----	---	-----	-----	-----	----------

防災関連施設	消防本部・消防署・分署	—				
	消防団	第12分団第1部、第12分団第2部、第12分団第3部、第12分団第4部、第12分団第7部				
	警察署・交番・駐在所	—				
	市役所・支所・事務所・集会所等	一坪田(騒)				
	種類	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	1	給水栓	0	給水拠点	0
	防災倉庫	0	資材置場	0	水防倉庫	0
	消防団器具庫	5	AED設置施設	5	災害拠点病院	0
	病院・診療所	0	歯科医院	0	福祉施設	1
	保育所・幼稚園等	1	水位観測所	0	雨量観測所	1
防災行政無線屋外子局	2	ヘリコプター臨時離着場	1	ドクターヘリ臨時離着場	1	
震度計	0	郵便局	0	公園	0	

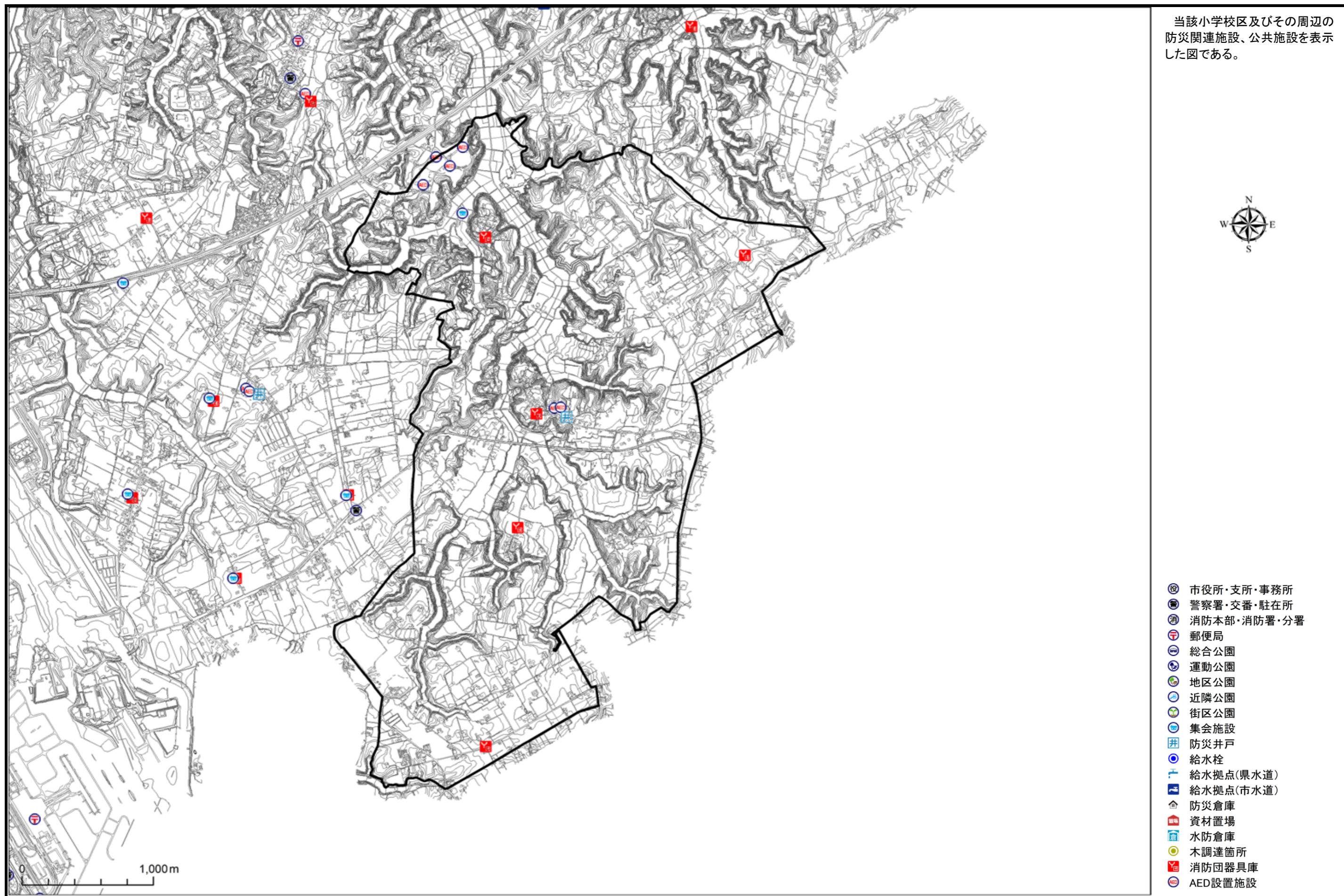
避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●	●			大栄B&G海洋センター	3,100	322	
●	●			前林小学校	826	225	
収容人数合計					3,926	547	

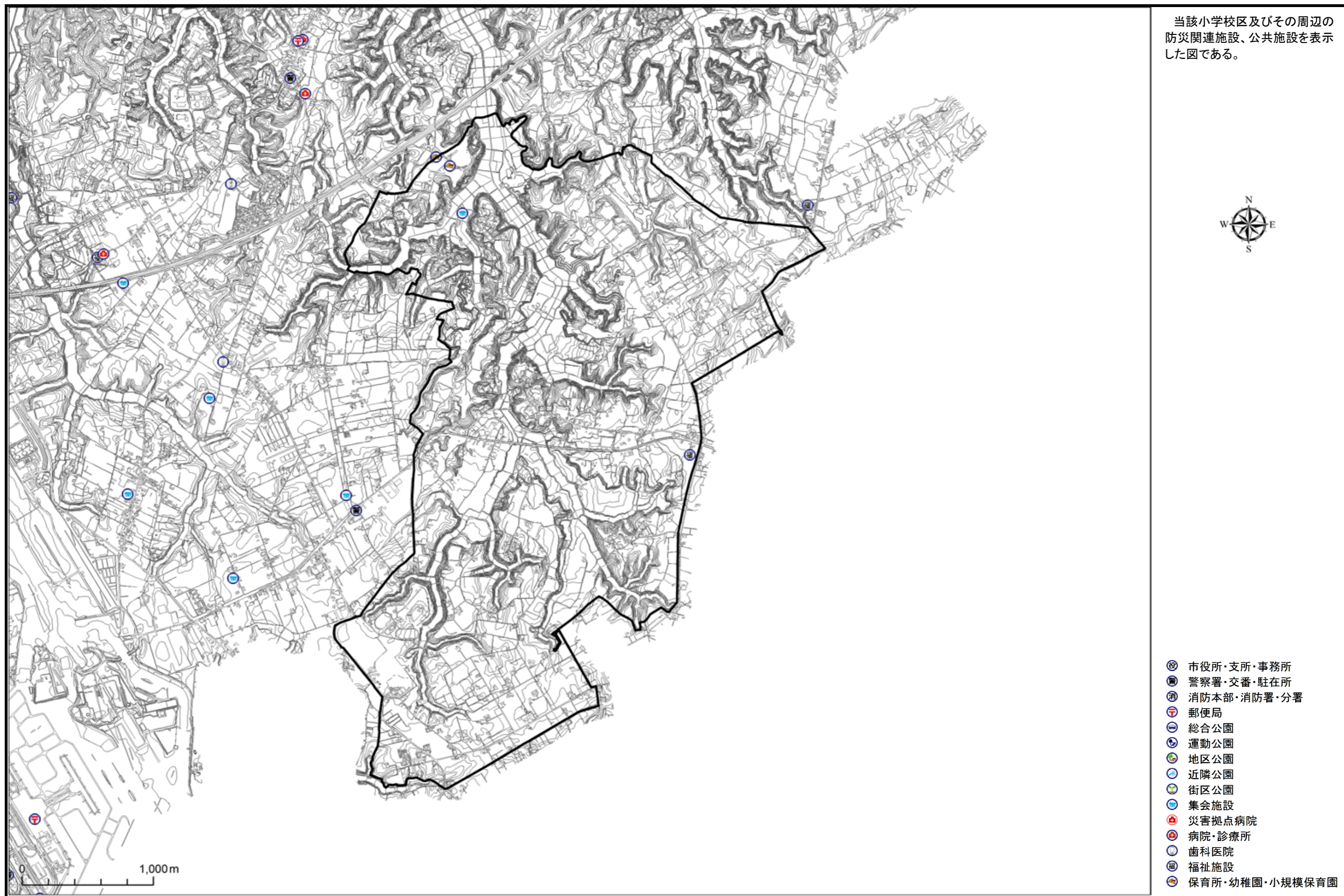
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km ²)	0.00	38.43	0.00%	0.00	16.17	0.00%
浸水する建物数(棟)	0	5,565	0.00%	0	1,428	0.00%
避難の対象者数(人)	0	6,025	0.00%	0	2,238	0.00%

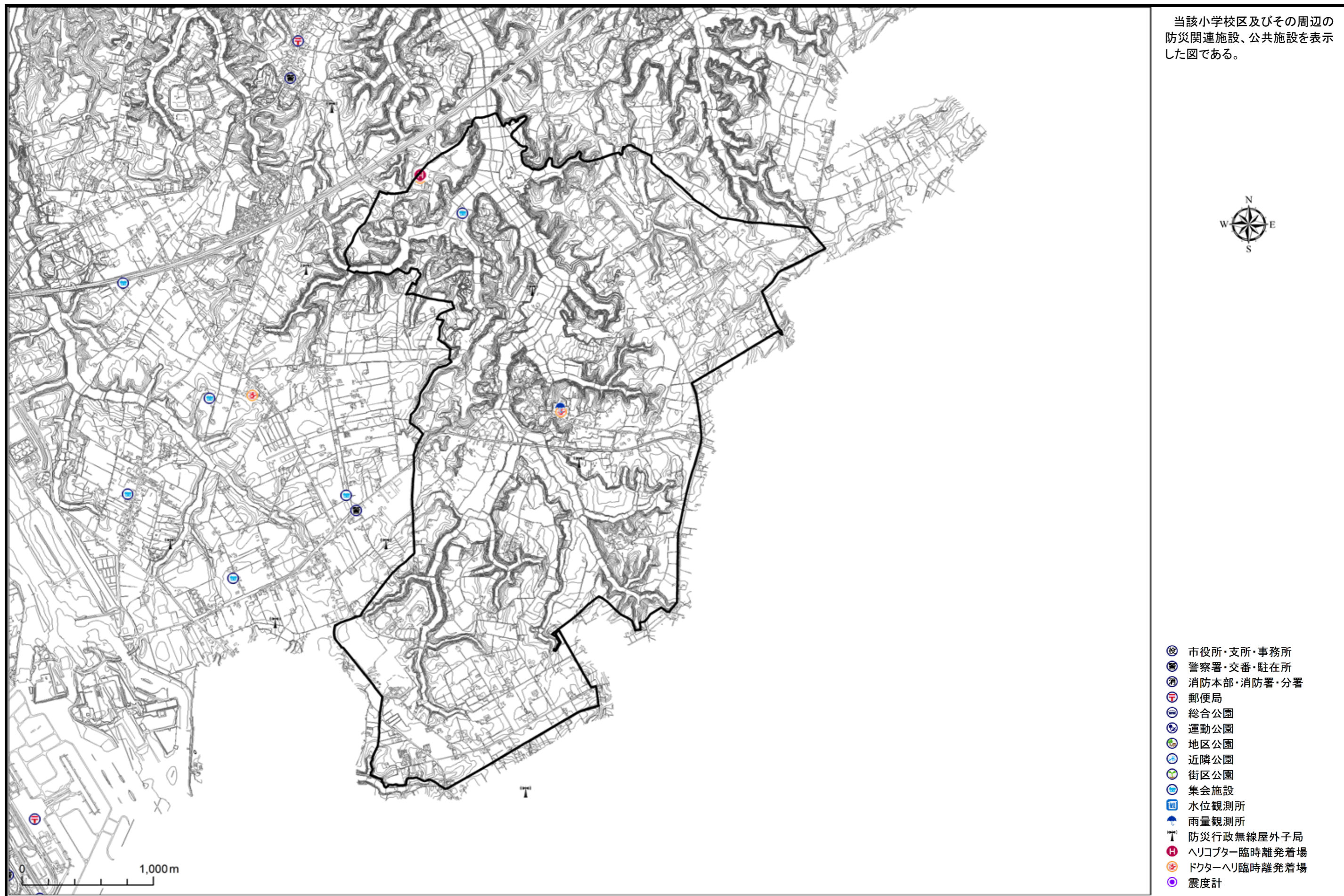
土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	うち特別警戒区域	山腹崩壊危険地区			
急傾斜地崩壊危険箇所	1	6	1	14	1	16	19	
土砂災害警戒区域				14		49	56	
うち特別警戒区域				14		21	29	
山腹崩壊危険地区				1		1	1	

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度			
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km ²)	0.00	0.00	10.43	0.05	0.00	9.02	1.46	0.00	0.00
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
木造 全壊	79	1,779	4.46%	死者数	1	16	3.89%		
木造 半壊	225	5,752	3.91%	負傷者数	63	1,471	4.26%		
非木造 全壊	13	300	4.40%	重傷者数	9	198	4.68%		
非木造 半壊	8	232	3.50%	軽傷者数	53	1,273	4.19%		
出火件数	0	5	2.27%	要救助者数	1	66	1.97%		
焼失棟数	0	17	2.17%	避難者数	122	18,189	0.67%		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
断水人口	0	37,668	0.00%	支障人口	15	3,341	0.46%		

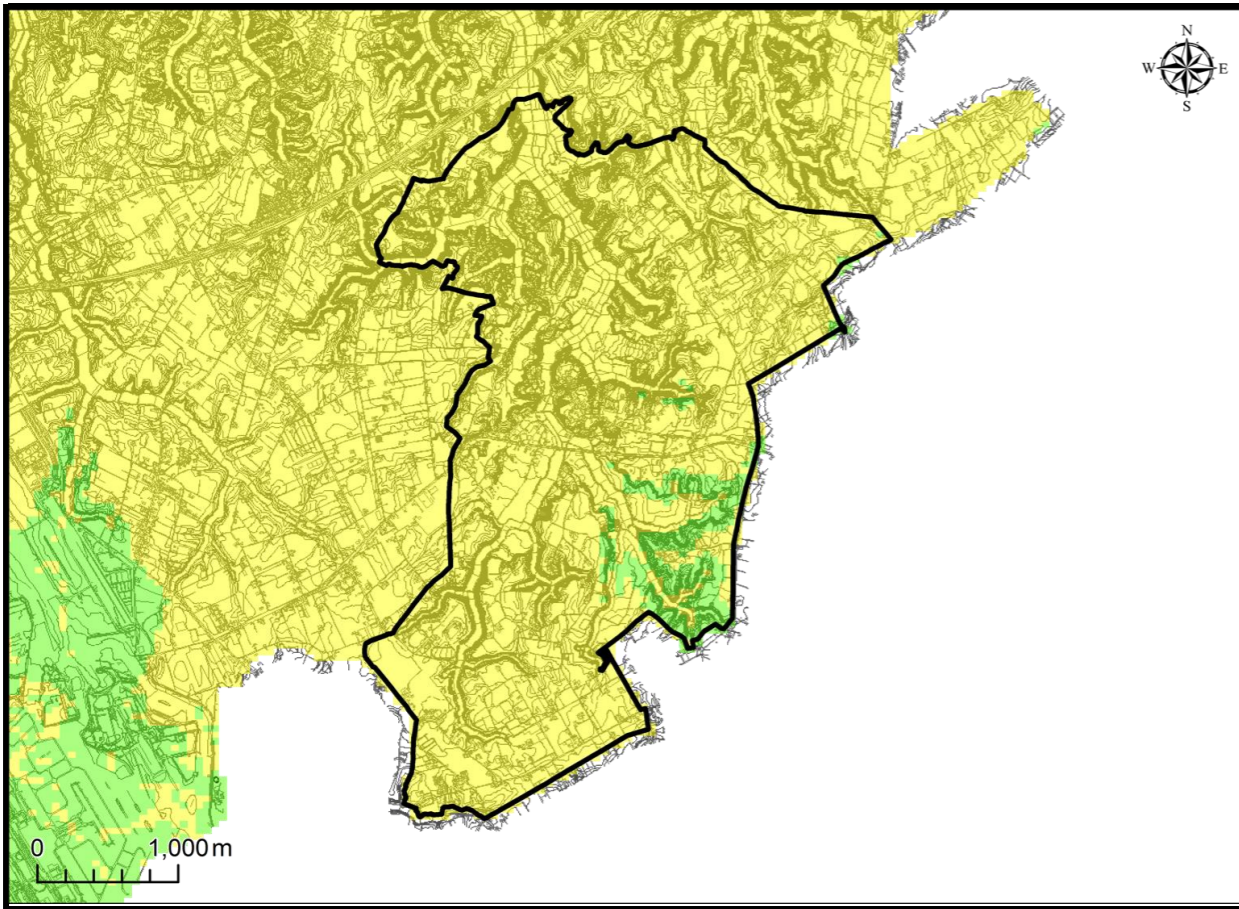




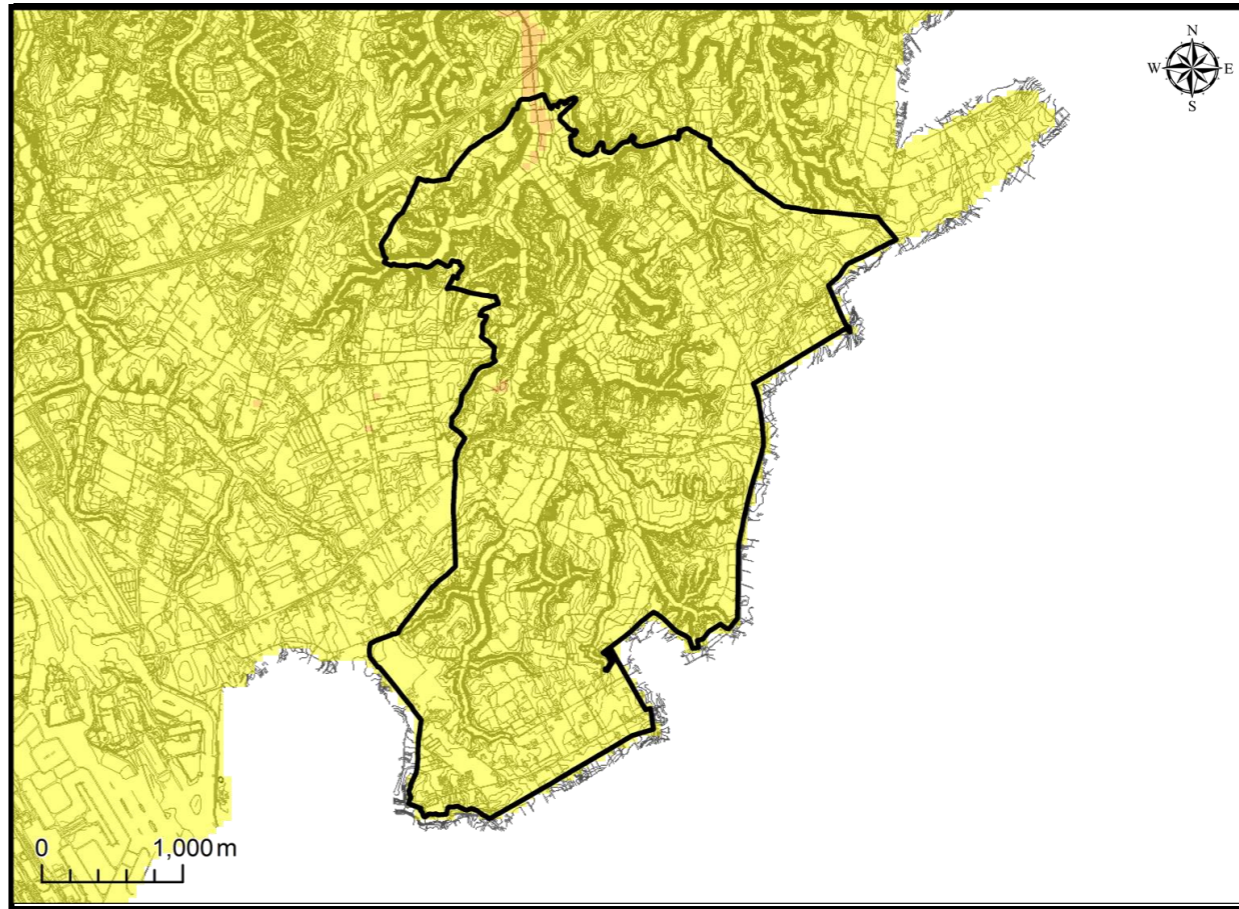




●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)

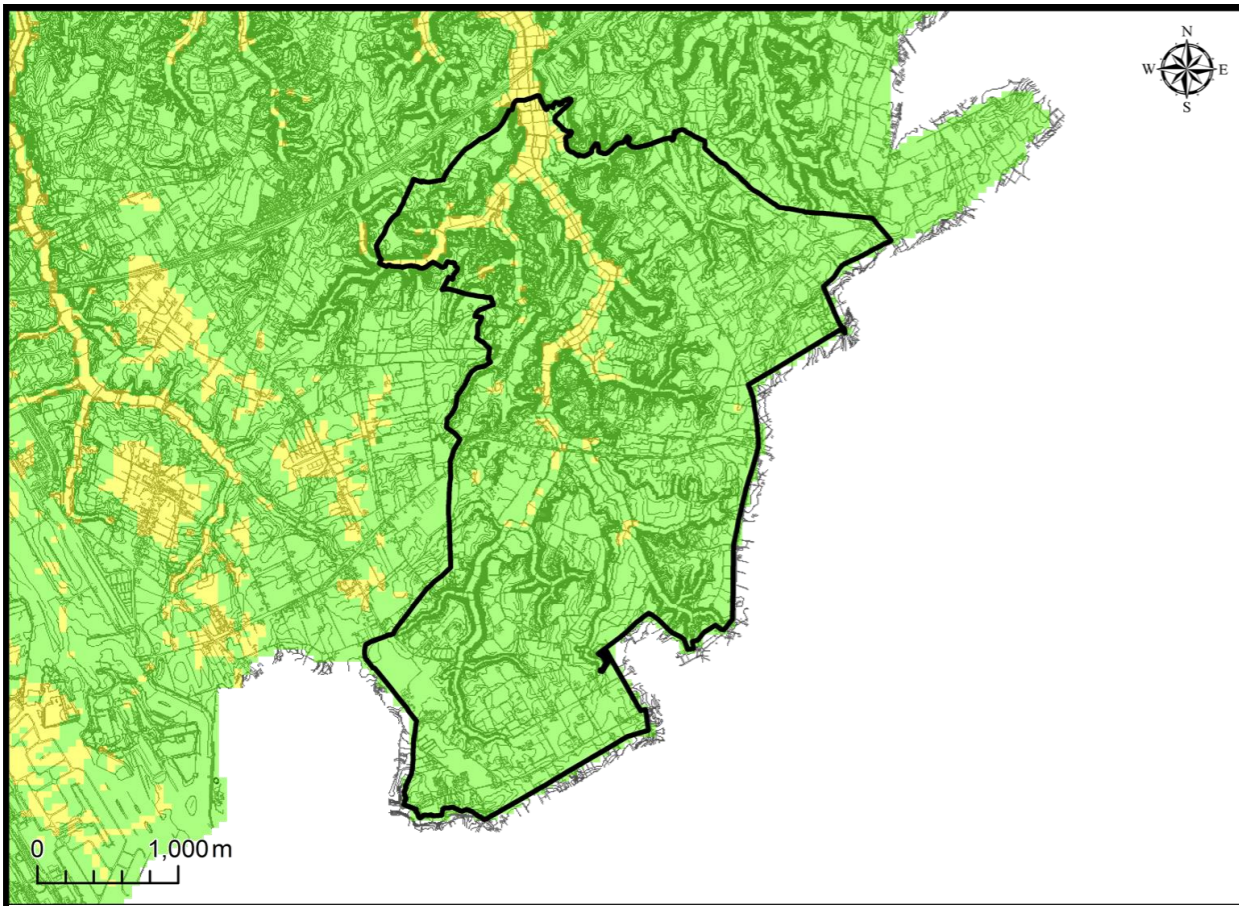


●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)

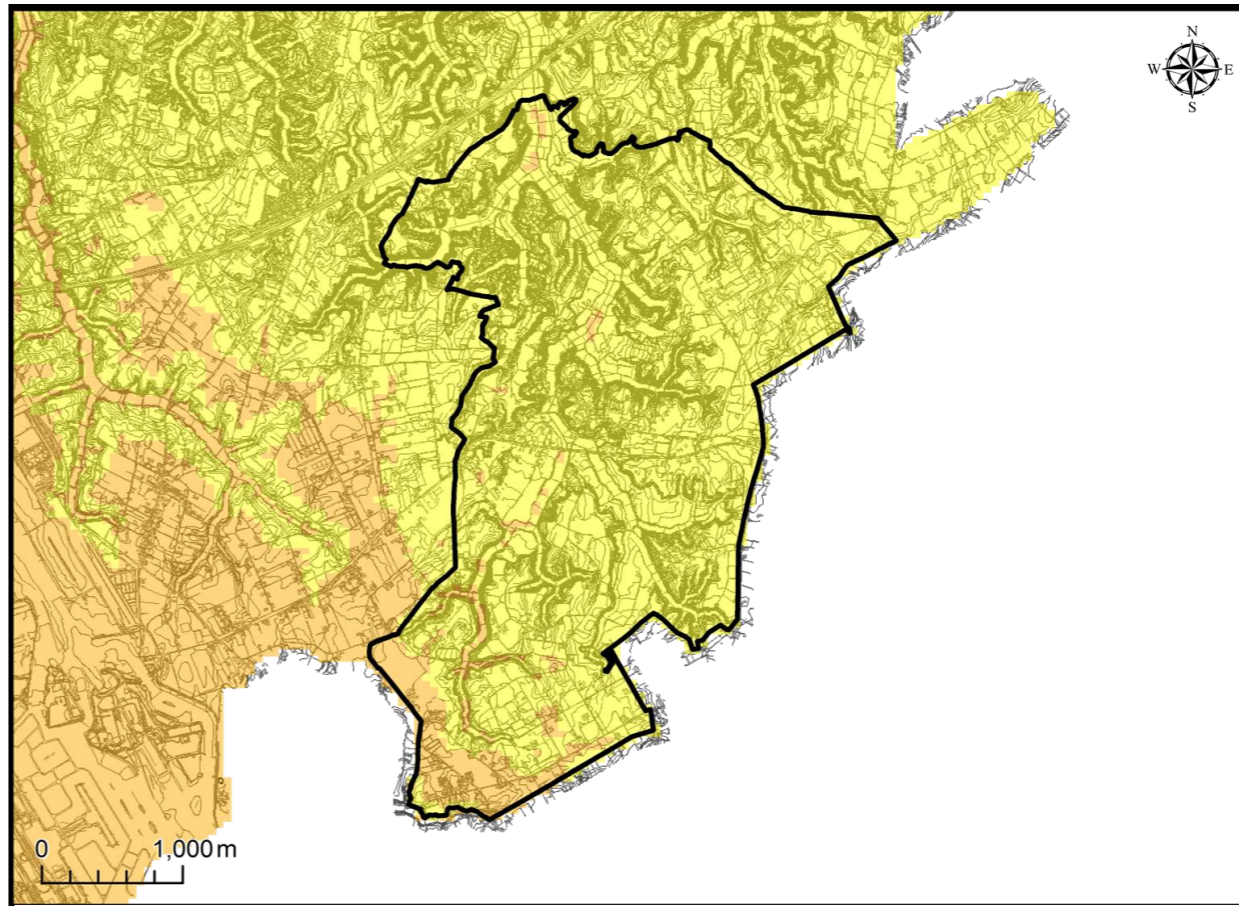


当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。
 なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)

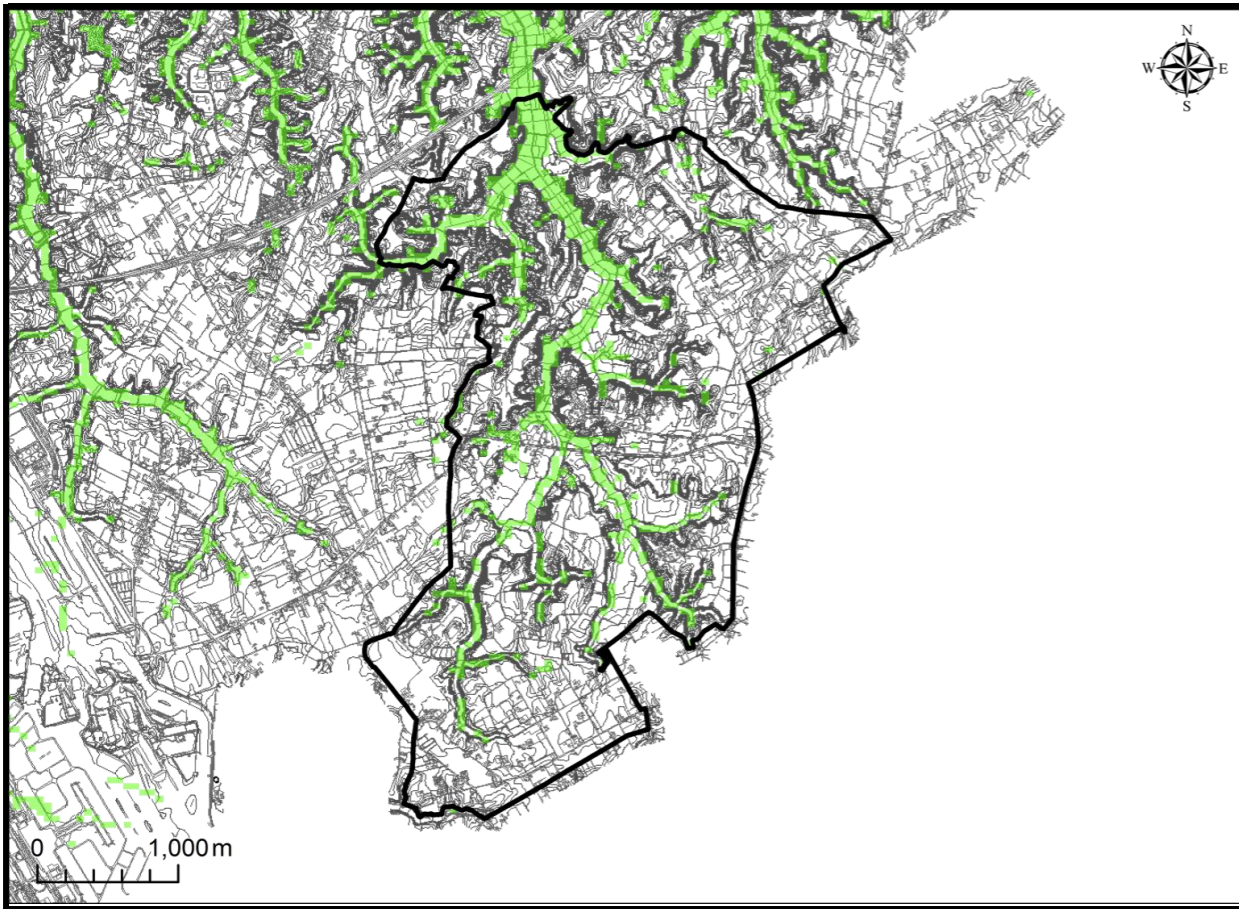


●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)

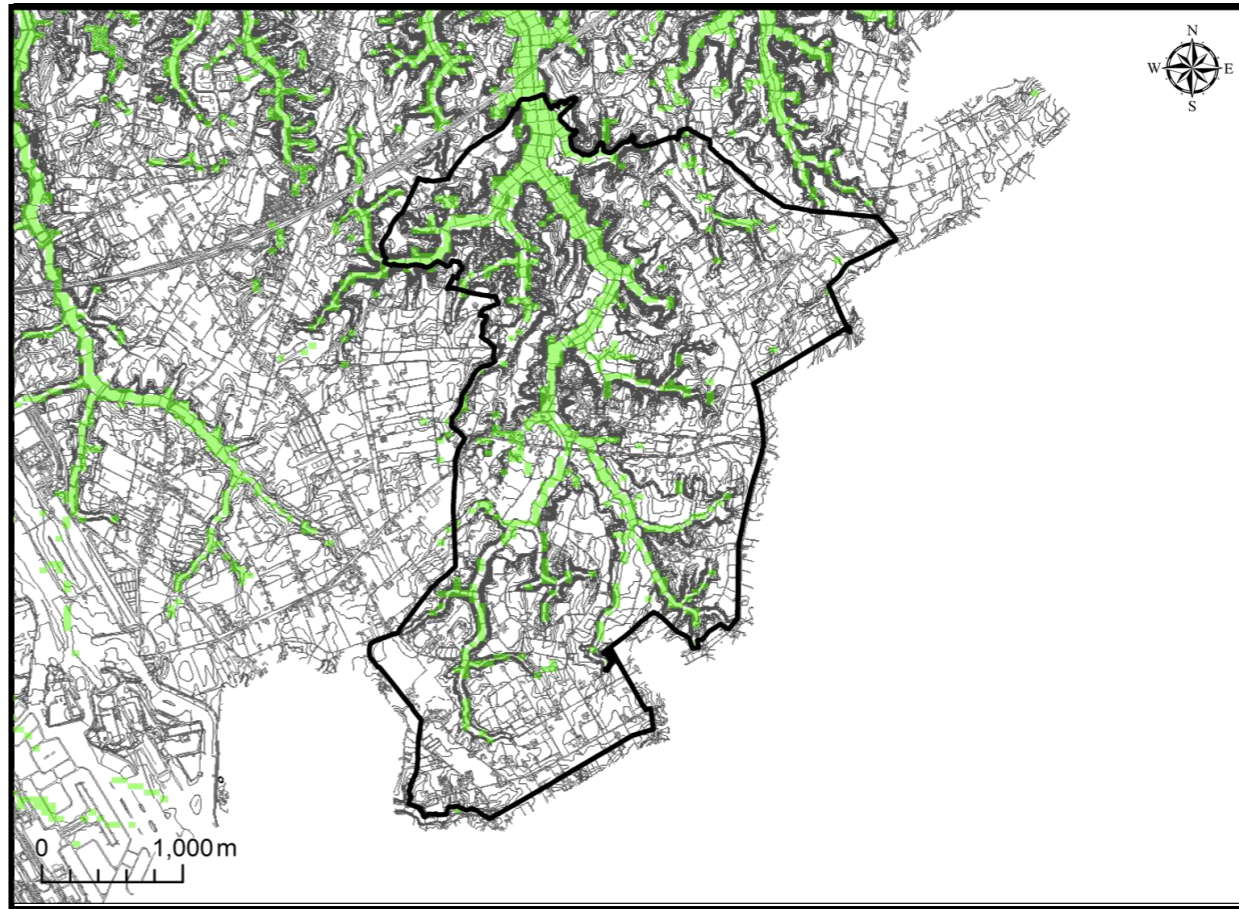


- 凡例
 震度階級
 5強
 6弱
 6強
 7

●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)

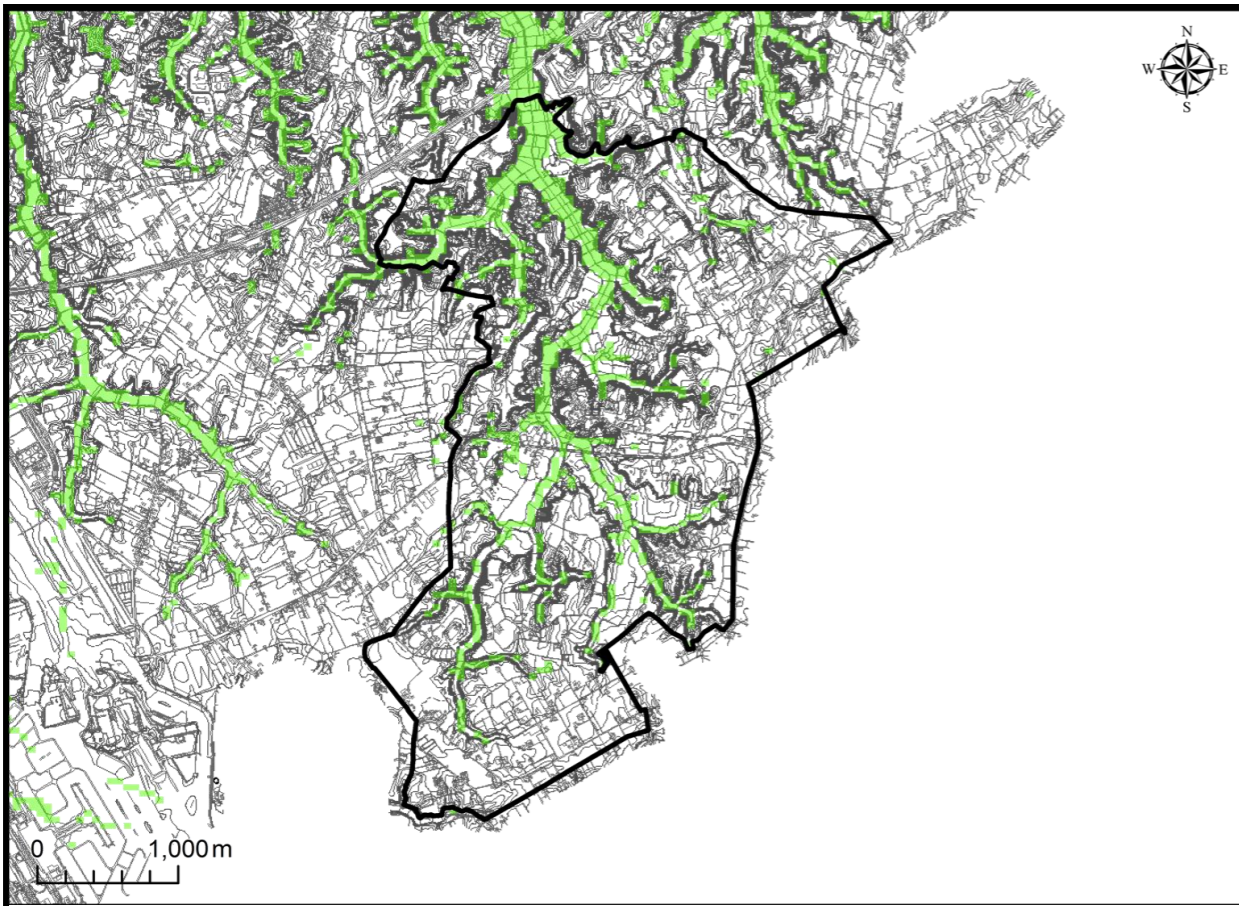


●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)

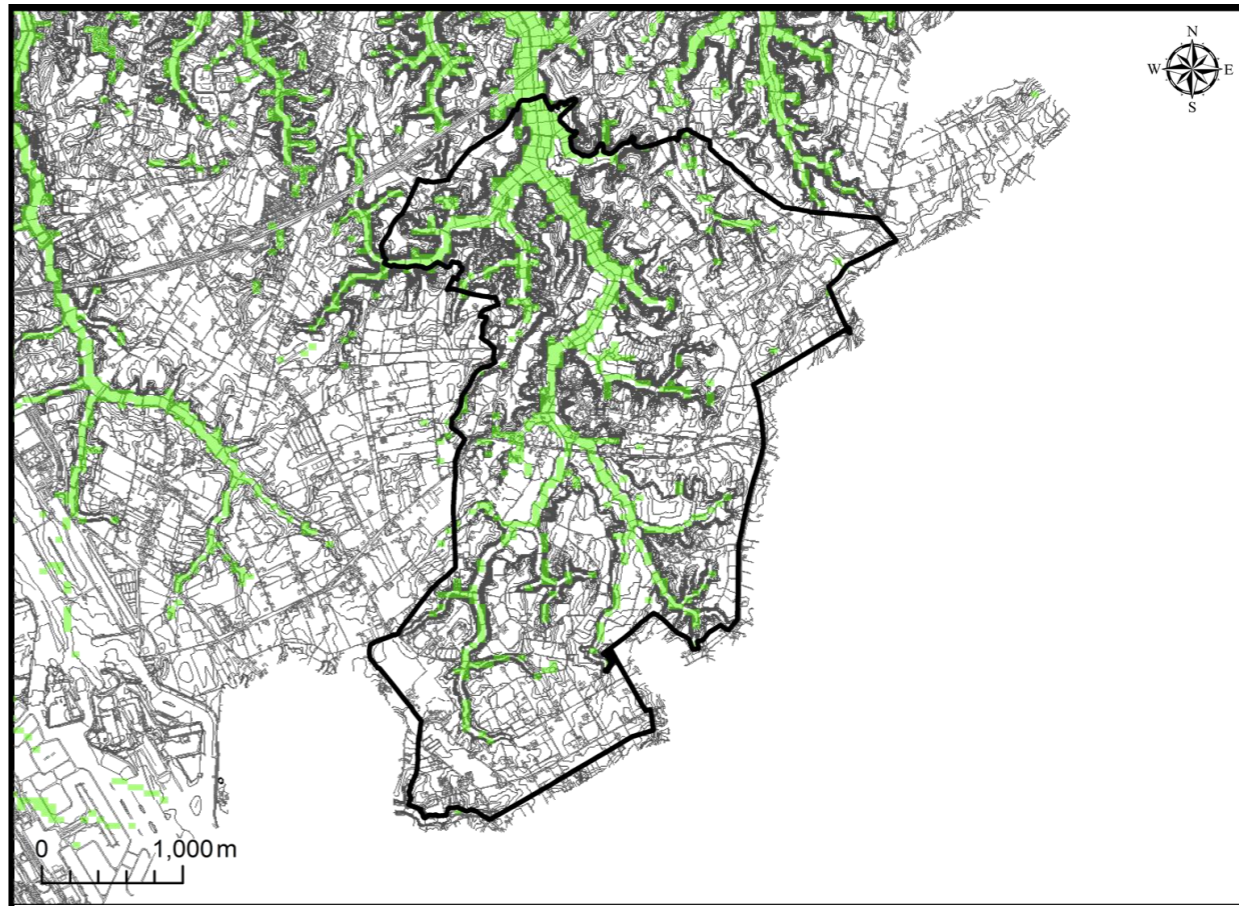


当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



- 凡例
- PL値
- 15 < PL
 - 5 < PL ≤ 15
 - 0 < PL ≤ 5
 - PL = 0

